学校番号	105

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・演奏の授業では、歌唱・器楽の分野で基礎的な楽典・演奏法を学びます。ギター・キーボード他様々な楽器にチャレンジして、生涯音楽を楽しめるような技能を身に付けましょう。
・鑑賞の授業では、聴くだけではなく音楽の構造や文化的・歴史的背景などについて学びます。広い視野をもって、音楽的な見方・考え方を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な基礎的技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作で表している。（技能） ・	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現（歌唱・器楽）及び鑑賞、創作の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱	発声の基本 コールユーブンゲン 楽曲	a:無理のない発声をするための喉の開け方、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表している。 b:楽曲にふさわしい発声方法を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取 学習プリント	観察 課題進度状況
	器楽	ギター 楽曲	a:自然な奏法・身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて、表現意図をもっている。 c:曲想とギター等の音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取 学習プリント	観察 課題進度状況

2学期	鑑賞	ミュージカル	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている c:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	学習プリント	観察 学習プリント	観察 課題進度状況
	歌唱	現代楽曲	a:現代楽曲における歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア、強弱、形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取 学習プリント	観察 課題進度状況

3学期	器楽	キーボード ハンドベル他	a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法・身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成を知覚し、演奏の仕方について表現意図をもっている。 c:曲想と楽器の音色・奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取 学習プリント	観察 課題進度状況
	創作	コードネーム	a:音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	学習プリント	聴取 学習プリント	観察 課題進度状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度